

令和5年9月

第705号

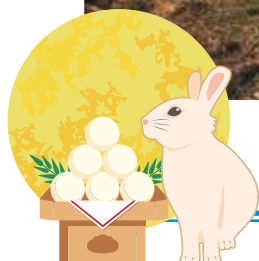


水土里ネット長崎だより

長崎県土地改良事業団体連合会



長崎の農業・農村写真コンテスト作品
「棚田の秋景」長崎市神浦上大中尾町



～目次～

長崎県農業農村整備事業推進大会	2～3
長崎県知事、県議会議員への政策提案	4
農林水産省、財務省への政策提案・要請活動	4
『農業農村整備の集い』開催	5
農林水産省、財務省、国会議員への政策提案・要請活動	5
令和6年度 農業農村整備事業関係予算概算要求 決定	6
国の農業農村整備予算の推移	6
令和5年度 第1回監事会	7
長崎県管理運営体制強化委員会	7
長崎県受益農地管理強化委員会	7
令和5年度 水土里情報システムVer.3 操作研修会	8
令和5年度 長崎県農地基盤整備地区連絡協議会総会・研修会	8
守ってますか？最低賃金。必ずチェック！	8
令和5年度 技術職員業務報告会	9
山田原第2地区のひまわり迷路（おおつかっ子探検隊）	9
会員の皆様にお願い	9
土地改良施設更新事業費の積立計画を検討しましょう	10
令和6年4月1日から相続登記が義務化されます	11
ご就任おめでとうございます	12
令和5年度 市町村・土地改良区等役職員研修会の開催について	12
本会会員新規加入について	12
会議と行事	12

長崎県農業農村整備事業推進大会



7月12日（水）、諫早文化会館（諫早市）において、長崎県農業農村整備事業推進協議会（会長：松本政博南島原市長）と長崎県土地改良事業団体連合会（会長：古川隆三郎島原市長）は、令和6年度農業農村整備事業当初予算の必要額確保に向けて、長崎県農業農村整備事業推進大会を開催しました。

本大会には、長崎県知事、県議会議員、九州農政局長、県選出国會議員、宮崎雅夫参議院議員、県議会議員を来賓に迎え、長崎県内各地の土地改良区組合員、県、市町職員など約700名の土地改良関係者が集結しました。

松本協議会会長は主催者挨拶において、『食料・農業・農村基本法』の検証・見直しが進められており、国民の命を支える食料の確保に必要な土地改良事業や、これを支える土地改良区の役割の重要性が高まる。我々の責務も大きくなるが、その役割・責務を果たすためにも、しっかりと必要予算を確保し、事業効果の早期発現を図ることが更に重要となる」と述べ、理解と支援を求めました。

来賓の大石賢吾：長崎県知事は「力強い経営体の育成と、産地の活性化のため、引き続き皆様の声をしっかりと聞き、必要な施策を臨機応変に、また迅速に実施していけるよう努力したい」と挨拶されました。

また、北林英一郎：九州農政局長（代読：渡辺裕一郎次長）は「燃油、生産資源の高騰などの課題に対応して農業を持続的に発展させるため、省エネ、再エネの推進、スマート農業を支える基盤整備などを推進していく必要がある。また、我が国の食料・農林水産業は、地球温暖化等に起因する大規模自然災害の発生、生産者の減少、地域コミュニティの衰退などの課題に直面している。このような状況に的確に対応する必要がある」と述べられました。このほか、県議会議員、国会議員の皆様にもそれぞれ力強いメッセージをいただきました。

続いて、山根伸司：九州農政局農村振興部地方参事官による九州の農業と農業農村整備の展開方向に関する基調講演と、宮崎雅夫：全国水土里ネット会長会議顧問（参議院議員）による情勢報告が行われました。

その後、馬場正邦：柳新田土地改良区理事長から、基盤整備に必要な令和6年度農業農村整備事業当初予算の必要額確保などを国に求める大会決議が提案され、満場の拍手で採択されました。

最後に、渡部哲也：岡南部土地改良区副理事長による発声のもと、ガンパロー三唱が行われ、参加者全員による力強い拍手にて大会は盛会裏に閉会しました。



主催者挨拶
（松本政博：推進協議会会長）



来賓挨拶
（大石賢吾：長崎県知事）



来賓挨拶
（渡辺裕一郎：九州農政局次長）



来賓挨拶
(谷川弥一：衆議院議員)



来賓挨拶
(加藤竜祥：衆議院議員)



来賓挨拶
(古賀友一郎：参議院議員)



来賓挨拶
(山本啓介：参議院議員)



来賓挨拶
(徳永達也：県議会議長)



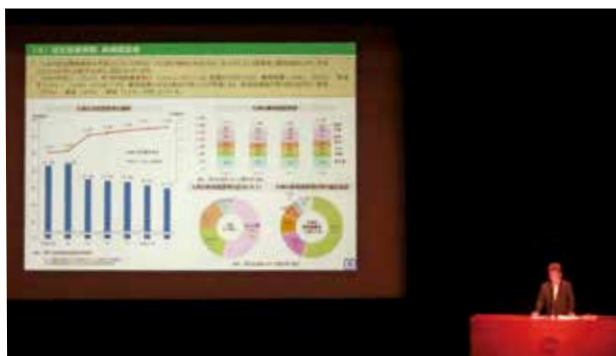
情勢報告
(宮崎雅夫：全国水土里ネット
会長会議顧問)



大会決議
(馬場正邦：柳新田
土地改良区理事長)



閉会挨拶
(古川隆三郎：連合会会長)



基調講演
(山根伸司：九州農政局農村振興部地方参事官)



情勢報告
(宮崎雅夫：全国水土里ネット会長会議顧問)

大会決議

- 一、国の農業生産基盤の計画的な整備を行うため、
令和6年度農業農村整備事業当初予算での必要額を確保すること
- 一、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」による
農業用ため池の整備にかかる必要額を確保すること
- 一、農業水利施設の維持管理主体である土地改良区に対する
運営基盤強化に向けた十分な予算支援を行うこと
- 一、計画的な農業生産基盤の整備と防災・減災対策を行うために、
本県の農業農村整備事業当初予算の必要額を確保すること

令和5年7月12日 長崎県農業農村整備事業推進大会

令和5年度 農業農村整備事業に対する要請活動 長崎県知事、県議会議員への政策提案

長崎県農業農村整備事業推進協議会（会長：松本政博南島原市長）及び長崎県土地改良事業団体連合会（会長：古川隆三郎島原市長）並びに地域農業農村整備事業推進協議会は、総勢18名で、6月5日（月）に知事へ政策提案・要請を行いました。

浦副知事からは、「安定的な事業の推進のため、令和6年度当初予算の必要額確保について、あらゆる機会を捉えて国に対して要請していく。ため池の防災対策に関しては、関係市町と連携しながら地元の合意形成を得て事業を進めていきたい。また、土地改良区の体制強化のために、県としても統合の必要性などをわかりやすく示しながら支援していきたい」と回答を頂きました。

要請内容の説明後、古川会長は、「長崎県の農業は右肩上がりです。頑張っており、農業基盤整備の効果は相当大きい。また、事業効果が現れている地域では、出生率も保っており人口減少に歯止めをかけている。若い世代が夢や憧れを持って儲かる農業を実現するという成果にたどり着いているので、今後も力強い支援をお願いしたい」と要望しました。



浦真樹：長崎県副知事への要請

【要 請 内 容】

- 1 農業農村整備事業に係る令和6年度当初予算の確保
- 2 農業用ため池の管理・保全・改廃に係る防災対策の計画的な推進
- 3 土地改良区の運営基盤強化の支援



徳永達也：長崎県議会議員への要請

農林水産省、財務省への政策提案・要請活動

九州農業農村整備事業推進協議会（会長：松岡吉寛福岡県推進対策委員会委員長）及び土地改良事業団体連合会九州協議会（会長：高木典雄水士里ネット福岡会長）は、農業農村整備事業予算確保等を求めるため合同政策提案・要請活動を国に対して行いました。

6月14日（水）、両協議会より36名が参加し、財務省、萩生田光一：政務調査会長、二階俊博：国土強靱化推進本部長、進藤金日子：全国水士里ネット会長会議顧問、宮崎雅夫：同顧問に対して政策提案・要請活動を行いました。翌15日（木）は、農林水産省に対して、農業農村整備事業の当初予算の確保を要請しました。

九州農業農村整備事業推進協議会・土地改良事業団体連合会九州協議会

【提 案 内 容】

- 1 食料自給力の向上と、食料安全保障の確立を図るため、農業農村整備事業に係る令和6年度当初予算の確保
- 2 自然災害からの復旧・復興に対する支援、並びに国土強靱化対策に必要な財政支援
- 3 食料・農業・農村基本法の見直しに当たり、食料情勢や気候変動など近年の情勢に応じた規定を盛り込み、関連政策を充実強化
- 4 土地改良区の運営基盤強化への支援
- 5 多面的機能支払交付金の必要額の確保、並びに円滑な活動への支援
- 6 農業政策推進に不可欠な水士里情報システムの利活用促進のための支援

『農業農村整備の集い』開催 —農を守り、地方を創る予算の確保に向けて—

6月15日（木）、シェンパッハ・サボー（東京都）において、全国水土里ネット及び都道府県水土里ネットの主催で「農業農村整備の集い」が開催されました。多数の国会議員を含め、1,000名を超える土地改良関係者が全国から参集しました。本県からは、県、改良区、連合会及び女性の会から14名が参加しました。

二階俊博：全国水土里ネット会長は、主催者挨拶で、予算確保に向けての結束を呼びかけました。次に、勝俣孝明：農林水産副大臣、高市早苗：経済安全保障担当大臣、進藤金日子：都道府県水土里ネット会長会議顧問ら6名の方々から来賓祝辞が行われました。続いて、来年度全国土地改良大会開催県の杉野宏：水土里ネット千葉副会長が要請文を読み上げ、全会一致で採択されました。その後、星野恵美子：全国水土里ネット理事による那須野ヶ原土地改良区連合に関する事例発表及び宮崎雅夫：都道府県水土里ネット会長会議顧問による情勢報告が行われました。最後に、竹内成子：水土里ネット福井理事のガンバロウ三唱の発声のもと、参加者は氣勢を上げました。

「集い」の後、参加者は、本県選出国会議員への要請活動を行い、農業農村整備事業に係る令和6年度当初予算の確保等について要望しました。



主催者挨拶（二階俊博：全土連会長）



ガンバロウ三唱

農林水産省、財務省、国会議員への政策提案・要請活動

長崎県農林部、長崎県農業農村整備事業推進協議会及び長崎県土地改良事業団体連合会は、総勢10名で、7月13日（木）～14日（金）に農林水産省、財務省及び国会議員に対し要請活動を行いました。松本政博：長崎県農業農村整備事業推進協議会会長より、本県の農業農村整備事業予算の状況を説明し、令和6年度当初予算の確保や土地改良区の運営基盤強化支援等を要望しました。



角田秀穂：農林水産大臣政務官へ要請



二階俊博：国土強靱化推進本部長へ要請



今村雅弘：政務調査会長代理へ要請



進藤金日子：参議院議員へ要請



長井俊彦：農村振興局長へ要請



青山健治：農村振興局次長へ要請

令和6年度 農業農村整備事業関係予算概算要求 決定

農林水産省は、8月31日、令和6年度農林水産関係予算の概算要求をまとめ、財務省に提出しました。その中で、農業農村整備事業関係については、令和5年度当初予算4,457億円の119.8%、5,338億円を要求し、農業の競争力強化や農村地域の国土強靱化を図ることとなっています。

具体的には、農地の大区画化や汎用化・畑地化、農業水利施設の適切な更新・長寿命化、省エネ化・再エネ利用、省力化等による適切な保水管理、ため池の防災・減災対策、田んぼダムの取組拡大等流域治水対策、農道、集落排水施設の整備等を推進します。

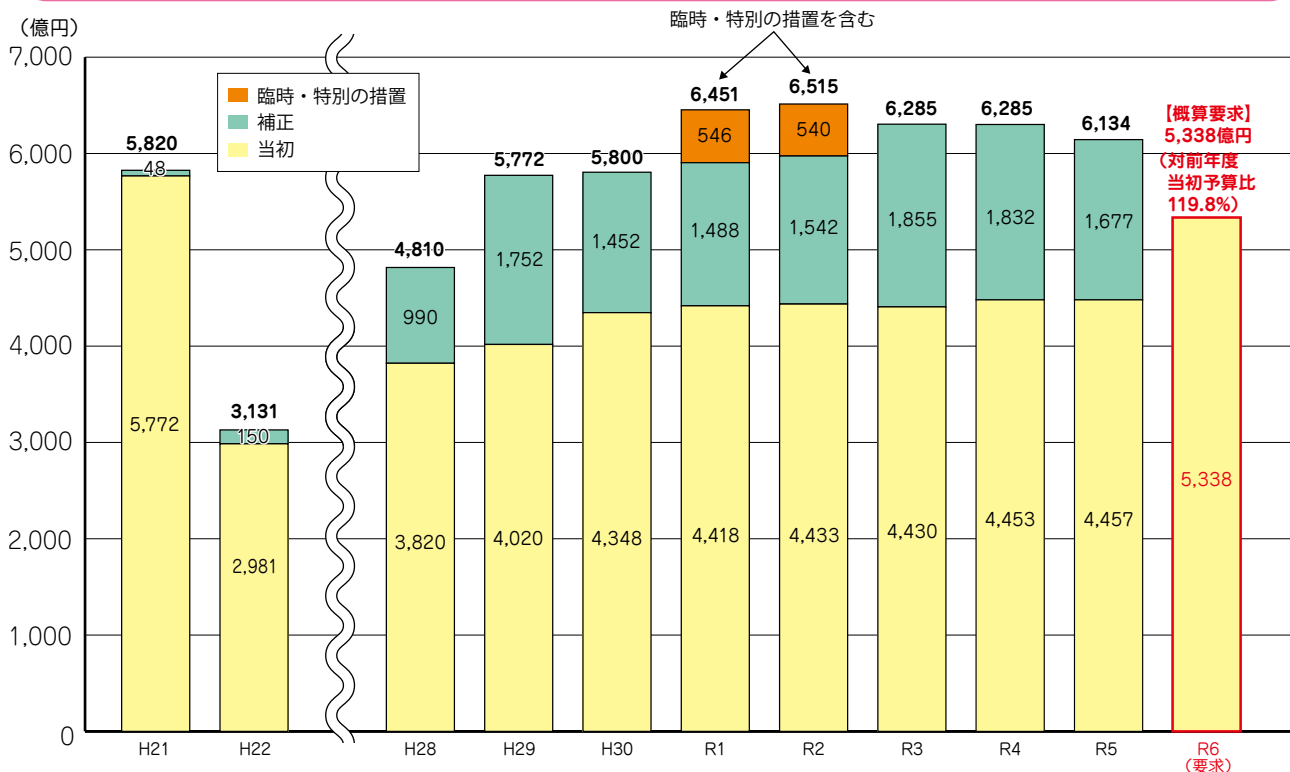
(単位:億円)

事 項	令和5年度 当初予算額	令和6年度 概算要求額
農業農村整備事業(公共)	3,323	3,980 (119.8%)
農業農村整備関連事業(非公共)	543	655 (120.5%)
〔 農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 畑作等促進整備事業 農山漁村振興交付金 〕		
農山漁村地域整備交付金(公共) (農業農村整備分)	591	703 (119.0%)
合 計	4,457	5,338 (119.8%)

(注) 1 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。

2 下段()書きは令和5年度当初予算額との比率である。

国の農業農村整備予算の推移



令和5年度 第1回監事会

7月21日（金）、土地改良会館において、岡田伊一郎代表監事（東彼杵町長）、濱崎保久監事（中央土地改良区理事長）、平田光昭監事（寺脇土地改良区理事長）出席のもと本年度の第1回監事会を開催しました。

監査立会人のもと審議を行い、各議案は原案どおり可決承認されました。また、監査については、厳正な監査の結果、適正に処理されていることが報告されました。

議 事

- 第1号議案 令和5年度監査の実施計画に関する件について
- 第2号議案 令和4年度監査結果に対する措置に関する件について
- 第3号議案 令和4年度決算監査に関する件について
- 第4号議案 令和4年度この会と理事との契約に関する件について



長崎県管理運営体制強化委員会

8月1日（火）、土地改良会館において、長崎県管理運営体制強化委員会が強化委員9名の出席により開催されました。議事内容については審議の結果、全て承認されました。

議 題

- 第1号議題 令和4年度事業実績報告並びに収入支出決算額について
- 第2号議題 令和5年度事業実施計画並びに収入支出予算について



強化委員

- 新開康成（九州農政局土地改良管理課長）
- 野田儒史（長崎県農村整備課参事）
- 山口 忍（長崎県農村整備課参事）
- 桃田次男（長崎県農村整備課課長補佐）
- 平尾修栄（諫早市農地保全課長）
- 本多博信（島原市耕地水産課長）
- 大村純一郎（南島原土地改良区事務局長）
- 西尾康隆（水土里ネット長崎専務理事）※委員長
- 喜々津真二（水土里ネット長崎総務部長）

長崎県受益農地管理強化委員会

8月1日（火）、土地改良会館において、長崎県受益農地管理強化委員会が強化委員8名の出席により開催されました。議事内容については審議の結果、全て承認されました。

議 題

- 第1号議題 令和4年度事業実績報告並びに収入支出決算額について
- 第2号議題 令和5年度事業実施計画並びに収入支出予算（案）について



強化委員

- 新開康成（九州農政局土地改良管理課長）
- 緒川民雄（長崎地方法務局統括登記官）
- 桃田次男（長崎県農村整備課課長補佐）
- 平尾修栄（諫早市農地保全課長）
- 大村純一郎（南島原土地改良区事務局長）
- 西尾康隆（水土里ネット長崎専務理事）※委員長
- 舘 雄二（水土里ネット長崎技術部長）
- 川原賢一（水土里ネット長崎換地課係長）

令和5年度 水土里情報システムVer.3 操作研修会

土地改良会館において水土里情報システムVer.3 操作研修会を開催しました。

本システムは、デジタルオルソ（航空写真データ）、地形図、農地筆図、耕区図等の地図情報と、地番、地目、所有者、耕作者、作付情報等の属性情報および農業用施設の情報等を一元管理できるクラウド方式の地理情報システム（GIS）です。システムの利用にあたっては、利用者毎にID・パスワードを配布し、閲覧範囲の制限を行っています。クラウド上の専用サーバー（データセンター）は、内閣サイバーセキュリティセンターに準じたセキュリティ対策を実施しています。

なお、本研修会は毎年度開催していますので、積極的に参加していただき、システムを有効活用することで、業務の効率化に繋がることを期待します。



第1回	令和5年 6月 5日(月)・・・基本編
	6月 6日(火)・・・応用編
第2回	令和5年 6月 8日(木)・・・基本編
	6月 9日(金)・・・応用編
第3回	令和5年 6月12日(月)・・・基本編
	6月13日(火)・・・応用編

令和5年度長崎県農地基盤整備地区連絡協議会総会・研修会

8月30日（水）、HOTELシーサイド島原（島原市）において、令和5年度長崎県農地基盤整備地区連絡協議会総会・研修会（事業視察含む）が2日間に渡って開催されました。コロナ禍により4年ぶりの対面開催となり、来賓及び県内の土地改良区、関係機関など計58名が出席しました。

開会にあたり、町田一久会長：桃山田土地改良区理事長が主催者挨拶を行い、来賓の古川隆三郎：島原市長（代理：坪田兼道農林水産部長）、野口和弘：県農村整備課長が祝辞を述べられました。その後、全国水土里ネット会長会議顧問であります、進藤金日子：参議院議員と宮崎雅夫：参議院議員のビデオメッセージが披露されました。

総会は、各議案について審議が行われ、全議案とも可決承認されました。

研修会では、橋本哲児：県農村整備課土地改良班主任技師から「土地改良施設の維持管理について」、本会の西坂英彦：会員支援課長から「機能診断と機能保全計画の現状について」と題した講話がなされました。翌日は、島原市内の基盤整備状況の視察が行われました。

議 題

- 第1号議題 協議会脱退・加入について
- 第2号議題 令和4年度活動報告及び収支報告について
- 第3号議題 令和5年度活動計画（案）及び予算（案）について
- 第4号議題 会則の改正について



守ってますか？最低賃金。必ずチェック！

長崎県の最低賃金が改定され、令和5年10月13日から（ただし、令和5年10月12日までは853円となります）効力が発生します。

最低賃金は、長崎県内の事業場で働くすべての労働者（パート、アルバイト等を含む）と使用者に適用され、土地改良区も対象となりますので、ご注意ください。

1時間 **898円**
効力発生日：令和5年10月13日

令和5年度 技術職員業務報告会

6月30日（金）、土地改良会館において、令和5年度技術職員業務報告会を行いました。外部審査員として田中健悟：県農林部農村整備課長補佐を招き、技術職員8名により発表がなされました。

審査の結果、「ため池整備における堤体の設計について」（県央支所：北尾補佐）、「確定測量業務の業務効率化について」（技術課：古島主任）、「ため池ハザードマップ作成における業務効率化について」（島原支所：平山技師）がそれぞれ優秀賞を受賞しました。



山田原第2地区のひまわり迷路(おおつかっ子探検隊)

雲仙市立大塚小学校の3年生で編成する「おおつかっ子探検隊」は、6月9日、「町のために何ができるか」をテーマにした総合学習として「花いっぱいになりたい」「迷路を作ろう」と発案し、山田原第2土地改良区の協力のもと、500㎡の土地に4,000本のひまわりの苗を植えました。

この他に農家の方が機械で播種したものを含め、1haほどの畑に約8万本のひまわりを緑肥として栽培し、その中に児童のデザインに沿った迷路を作りました。ひまわり迷路は幅60m、長さ100m超の大作で、7月下旬に完成し、児童は迷路の中を行ったり来たりしながら歓声を上げて走り抜けて楽しみました。



会員の皆様をお願い

本会会員加入時に加入届出書をいただいておりますが、連絡先や役職員の変更等があった場合は、変更届を提出していただきますようお願いいたします。様式をお持ちでない場合、当会にお問い合わせいただくか、当会のホームページからもダウンロードできます。

また、改良区主催でイベントなどを実施される場合は、本誌（水土里ネット長崎だより）に掲載したいと思いますので、本会までお気軽にお知らせ願います。

長崎県からのお知らせ

土地改良施設更新事業費の積立計画を検討しましょう

貸借対照表の作成義務化（土地改良施設台帳の整備）により、各土地改良区が所有・管理する土地改良施設を建設するのに要した費用や耐用年数などの情報が容易に把握できるようになりました。これらの情報を活用し、将来必要となる施設更新事業費の計画的な積立について検討しましょう。

土地改良施設台帳の見方

施設がいくらで建設されたか				どの程度価値が減少したか						現在の施設価値			
土地改良施設台帳													
施設名	事業名	造成主体	事業費(取得価額) (百万円)		取得年度	耐用年数 (年)	事業区分	管理区分	経過年数 (年)	減価償却累計額 (百万円)		期末残高 (百万円)	
			全体	うち改良区負担						全体	うち改良区負担	全体	うち改良区負担
A用水路	〇〇事業	県	400	40	××	40	新設	所有	12	120	12	280	28
合計			400	40						120	12	280	28

建設費のうち改良区はいくら負担したか

残存年数=耐用年数-経過年数

積立計画の内容検討

更新事業費の積立計画の策定にあたり、まずは次の事項を検討します。

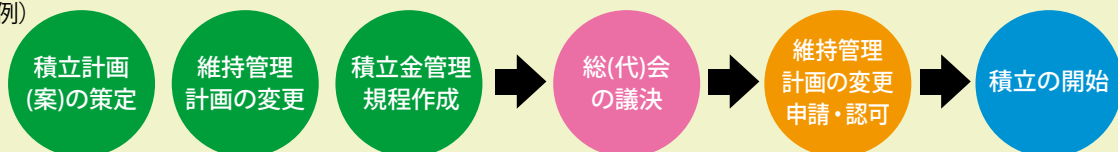
- ①積立期間：何年間積み立てるか。（施設の残存年数、施設現況を勘案し設定した年数など）
- ②積立総額：積立金額の総額（事業費のうち改良区負担分全額や将来事業実施時の借入金割合を考慮した金額など）
- ③積立期間中の毎期の積立額：均等積立の場合は積立総額÷積立期間

上記事項の他に、剰余金の一部積立の規定や積立期間における組合員の負担の見通しなど詳細を定め、施設更新積立計画（案）を策定します。

実際に積立を開始する前に

実際に策定した積立計画（案）をもとに、積立を開始する場合は積立計画を反映した維持管理計画書と積立計画について、総（代）会の議決を得る必要があります。（維持管理計画書については県知事の認可も受ける必要があります。）また、積立金管理規程の策定も必要です。

（手順例）



積立手順の詳細、計画・規程例については、農林水産省農村振興局長通知「土地改良区が管理する土地改良施設に係る施設更新事業等に要する費用の積立について」や「土地改良施設の更新事業費の積立手順の概要」を参照してください。

お問合せ先：県の地方振興局農林部局用地管理担当課

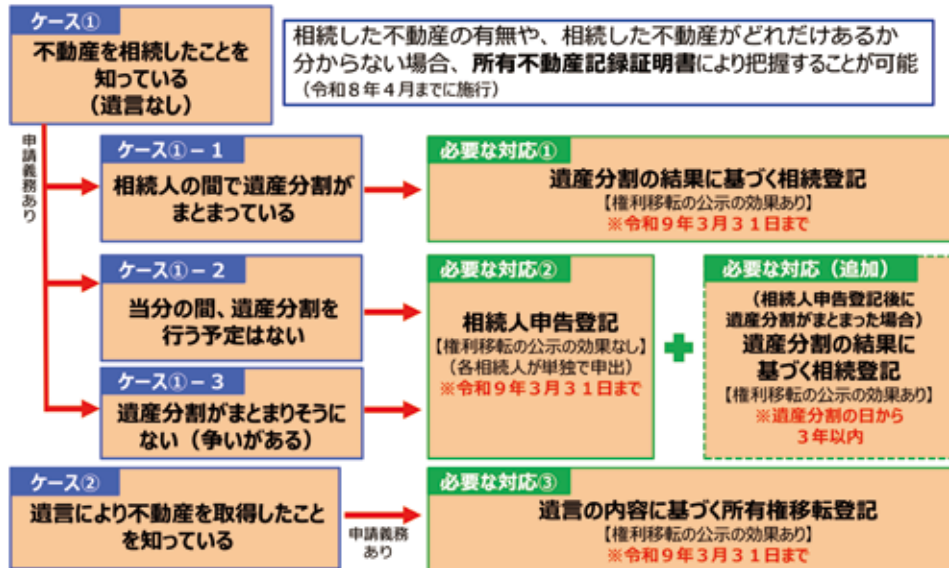
令和6年4月1日から相続登記が義務化されます

相続登記がなされないため、登記簿を見ても所有者がわからない「所有者不明土地」が全国で増加し、周辺の環境悪化や公共工事の阻害などが社会問題になっています。

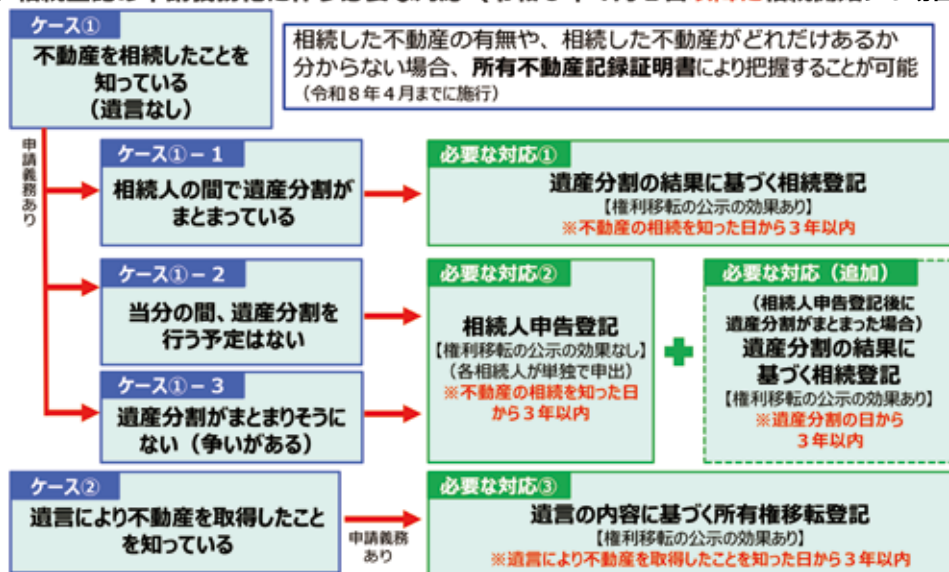
この問題解決のため、令和3年に法律が改正され、これまで任意だった相続登記が義務化されることになりました。

相続登記の義務化は、令和6年4月1日から始まりますが、今のうちから備えておくことが重要です。また、令和6年4月1日より前に相続した不動産も、相続登記がされていないものは、義務化の対象になります（3年間の猶予期間があります。）ので、要注意です。

◆ 相続登記の申請義務化に伴う必要な対応（令和6年4月1日より前に相続開始した場合）



◆ 相続登記の申請義務化に伴う必要な対応（令和6年4月1日以降に相続開始する場合）



※民法改正により、相続開始の時から10年を経過した後にする遺産の分割については、原則として、具体的相続分を考慮せず、法定相続分または指定相続分により行うこととされました。

（注）これらのフロー図は、不動産の相続に関する典型的なケースにおいて、通常想定される対応を示したものです。

ご不明な点は、お近くの法務局や登記の専門家である司法書士へご相談ください。

ご就任おめでとうございます

第2次岸田第2次改造内閣において、加藤竜祥衆議院議員（長崎県第2区選出）が国土交通大臣政務官に、古賀友一郎参議院議員（長崎県選挙区選出）が内閣府大臣政務官に就任されました。

今後益々のご活躍を祈念申し上げます。



加藤竜祥：衆議院議員
（国土交通大臣政務官）



古賀友一郎：参議院議員
（内閣府大臣政務官）

令和5年度 市町村・土地改良区等役職員研修会の開催について

会員及び関係団体を対象とした研修会を右記のとおり開催します。詳細については後日ご案内いたします。皆さまのご参加をよろしくお願いいたします。

日程：令和5年12月5日（火）
場所：セントヒル長崎（長崎市）

本会会員新規加入について

土地改良区名	所在地	理事長	加入年月日
福江土地改良区	五島市籠淵町1993番地5	出口 勝博	令和5年5月23日

（令和5年8月現在：95会員）

会議と行事

- 9月**
- 6～7日 九州協議会専務・常務理事会議（指宿市）
 - 14～15日 第22回水土里情報システム運用検討会（神奈川県）
 - 20日 九州協議会事務責任者会議・表彰選考委員会（大分市）
 - 20日 令和5年度統整合備推進研修（会計研修）（長崎市：セントヒル長崎）
 - 26日 第224回理事会（長崎市：土地改良会館）
 - 27～28日 水土里ネット男女共同参画推進大会（秋田県鹿角市）
- 10月**
- 6日 長崎県農村振興技術連盟研修会・総会・委員会（諫早市）
 - 11日 全国土地改良大会福井大会（福井県）
 - 23～24日 九州農業農村整備事業推進協議会・土地改良事業団体連合会九州協議会合同要請活動（東京都）
 - 26～27日 令和5年度換地異議紛争処理実務研修会（長崎市：土地改良会館）
 - 30日 九州「ふるさと環境フォーラム」in 熊本（熊本市）
- 11月**
- 7日 農業農村整備の集い（東京都）
 - 8日 全国水土里ネット女性の会研修会（東京都）
 - 8～9日 長崎県農業農村整備事業推進協議会要請活動（東京都）



土地改良会館 〒850-0057 長崎市大黒町9番17号 (代)TEL(095)823-3101・FAX(095)823-3102

総務部：総務課 (直)TEL(095)823-3101・✉n.soumu.3101@ntr.or.jp

会員支援課 (直)TEL(095)893-5701・✉nagasaki.kaishi@ntr.or.jp

技術部：技術課 (直)TEL(095)893-5720・✉nagasaki.setukei@ntr.or.jp

換地課 (直)TEL(095)893-5725・✉nagasaki.kanti@ntr.or.jp

県央支所：〒854-0071 諫早市永昌東町25-37 TEL(0957)23-7645・FAX(0957)27-0025・✉sisho02@ntr.or.jp

島原支所：〒855-0036 島原市城内1丁目1185-1 TEL(0957)62-6424・FAX(0957)65-0618・✉sisho03@ntr.or.jp

五島支所：〒853-0032 五島市大荒町441-1 TEL(0959)72-5007・FAX(0959)72-5007・✉sisho05@ntr.or.jp

壱岐支所：〒811-5133 壱岐市郷ノ浦町本村触509-3 TEL(0920)47-0408・FAX(0920)48-1011・✉sisho06@ntr.or.jp

ホームページ <http://ntr.or.jp>

水土里ネット長崎

検索

長崎県農地保全推進協議会 TEL(095)816-3636 ✉nagasaki.nkyougikai@ntr.or.jp

長崎ため池サポートセンター TEL(095)801-1880・FAX(095)820-6836

【本誌に関するお問合せやご質問などは、水土里ネット長崎総務課までお願い致します】